



JASDAQ

平成22年11月2日

各位

会社名 タカセ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
(JASDAQ・コード9087)
問合せ先 常務取締役管理本部長
島津 和人
(TEL. 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月14日に公表した平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

(単位：百万円)

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,700	170	170	40	3.91
今回修正予想(B)	4,900	180	170	3	0.29
増減額(B-A)	200	10	—	△37	—
増減率(%)	4.3%	5.6%	—%	△92.5%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期実績)	4,950	174	172	94	9.20

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,700	390	390	170	16.61
今回修正予想(B)	9,800	410	390	130	12.71
増減額(B-A)	100	20	—	△40	—
増減率(%)	1.0%	△5.1%	—%	△23.5%	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期通期)	9,870	371	373	192	18.71

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	4,450	130	140	20	1.95
今回修正予想（B）	4,700	145	165	6	0.59
増減額（B－A）	250	15	25	△14	――
増減率（%）	5.6%	11.5%	17.9%	△70.0%	――
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 22 年 3 月期第 2 四半期実績）	4,725	135	141	73	7.16

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	9,200	310	310	130	12.70
今回修正予想（B）	9,400	350	360	120	11.74
増減額（B－A）	200	40	50	△10	――
増減率（%）	2.2%	12.9%	16.1%	△7.7%	――
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期通期）	9,402	283	297	143	13.99

修正の理由

個別の当第 2 四半期累計期間の営業収益につきましては、中国などの新興国の景気拡大等にとともに、輸出・輸入部門ともに全般的に貨物の取扱量が増加したことのほか、7 月に入って、国内顧客の業務取扱量が総じて持ち直してきたことによって、当社の営業収益は期初公表値に対して 2 億 50 百万円増（5.6%増）の 47 億円となる見込であります。

第 1 四半期において、苦戦を強いられていた営業利益および経常利益につきましては、当第 2 四半期において、営業収益が好転したことのほか、賃借倉庫の一部返却ならびにコスト削減効果が寄与し、期初公表値に対して、それぞれが 15 百万円増（11.5%増）の 1 億 45 百万円および 25 百万円増（17.9%増）の 1 億 65 百万円となる見込であります。

四半期純利益につきましては、第 1 四半期において、特別損失に想定外の投資有価証券評価損 51 百万円の計上を余儀なくされておりましたが、当第 2 四半期においても、約 6 百万円の追加計上を余儀なくされたことから、期初公表値に対して 14 百万円減（70.0%減）の 6 百万円となる見込であります。

連結の当第 2 四半期累計期間の業績予想につきましては、主に、個別の当第 2 四半期累計期間の業績予想の修正要因により、上記のとおり修正いたします。

また、通期の業績予想（個別・連結）につきましては、主に個別の当第 2 四半期累計期間の業績見込みを考慮するとともに、下期の事業環境について不安定要素がありますが、コスト削減効果が継続して期待されることから、上記のとおり修正いたします。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上